



研究の動機

周りの人に英語は嫌いだという人が多く、解決したいと思った。

研究の目的

英語の授業に加えて、楽しくスピーキング力とリスニング力をあげることの出来る自己学習を提案する。

先行研究

スピーキング力とリスニング力は自主学習によって向上しやすい。

Ming, C. (2017)「A Study on English Listening and Speaking Autonomous Learning Model Based on Micro Course」
 (「マイクロコースを用いた英語のリスニング・スピーキング自主学習モデルに関する研究」※筆者和訳) 10/17

研究方法

- ①英語に関してアンケートをとる。
- ②面接を受けてもらう※発音、流暢さ、質問に答える力 を基準に100点満点で採点 (5分)
- ③無作為に選んだ30人を10人ずつに分け、考えた3つの実験方法で実験する(10分)(洋画鑑賞・英語で話し合う・洋楽を和訳)
- ④終わったあと、もう一度面接を受けてもらい、その結果を比較する。

必要な道具

インターネット, 筆記用具, タブレット, アンケート



仮説

映画を用いた学習が1番スピーキング力とリスニング力が伸びる。理由は画像と音声リンクして頭に残ると考えたから。

参考文献

- ・(幸田美沙)映画を利用した実践的な英語運用能力の育成
- ・(杉田由仁)話すことの技能向上につながる高校英語授業のあり方
- ・(藤代昇丈)楽曲を用いた授業

結果

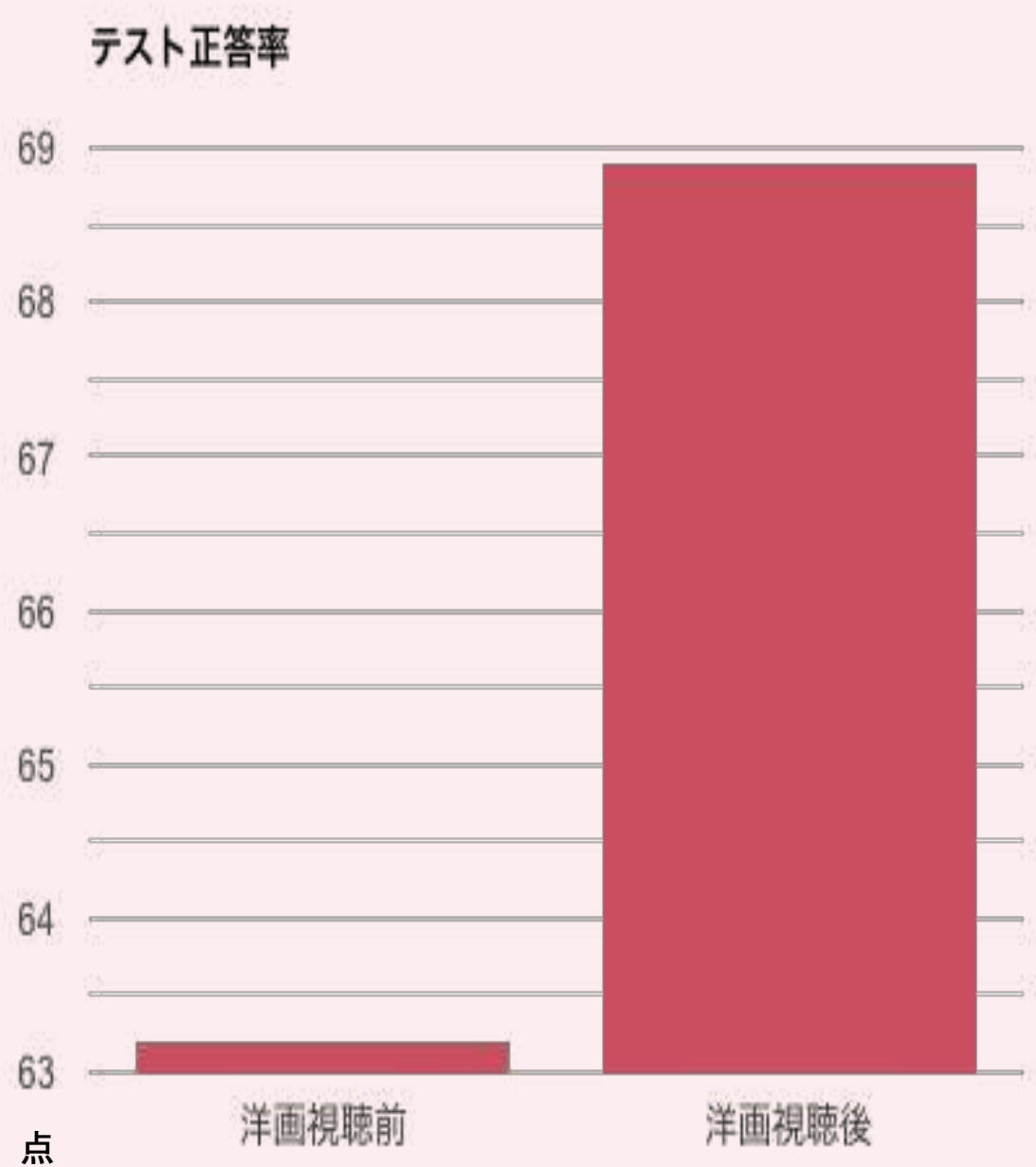
・アンケート結果

英語が苦手な理由: 英語を聞き取るのが難しい。

英語が得意になってやりたいこと: 海外旅行、歌詞を見ずに洋楽の意味を理解する。

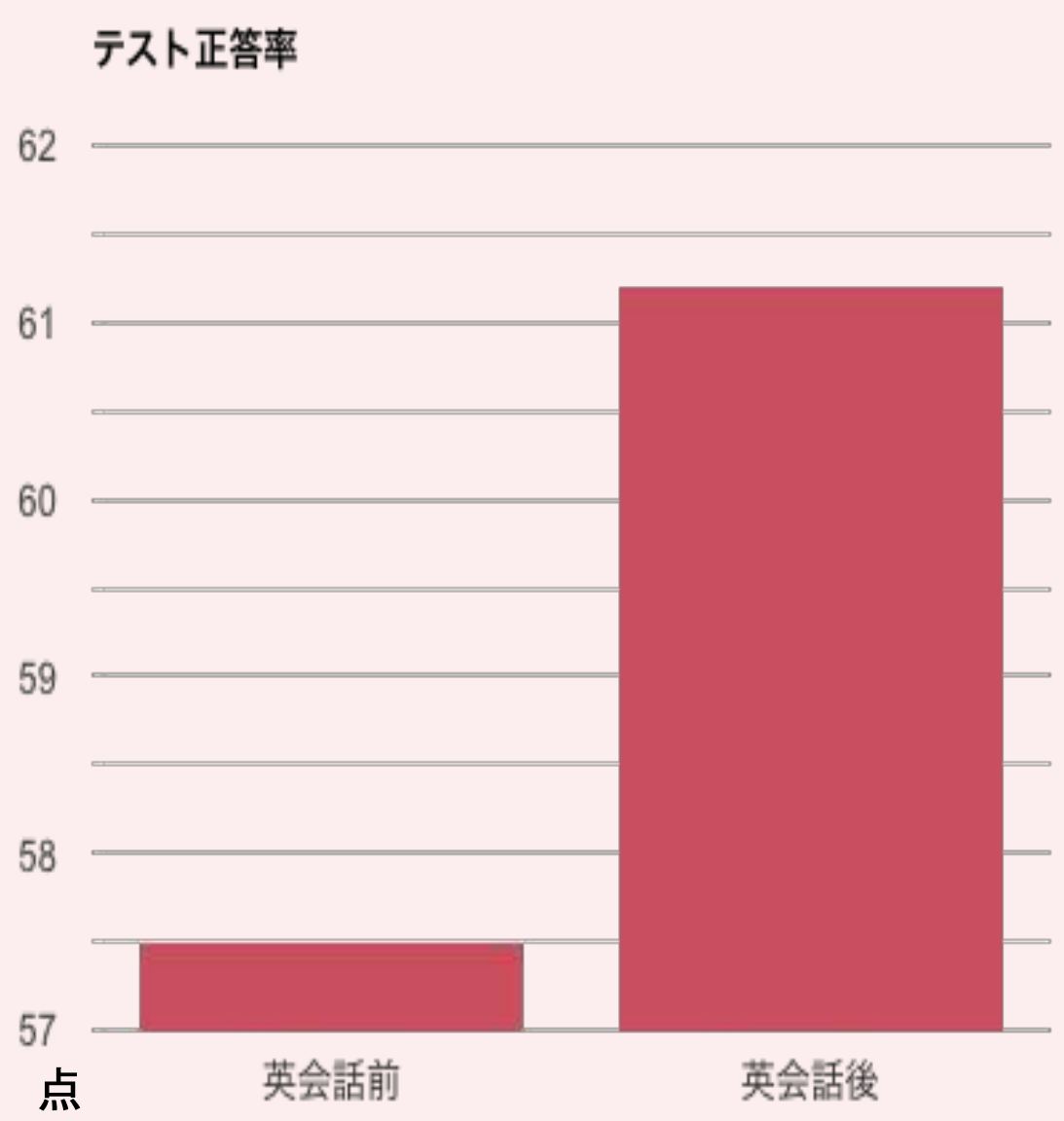
・実験結果

洋画を吹き替えなし、英語字幕ありで視聴
→正答率が **5.7%** 上がった。



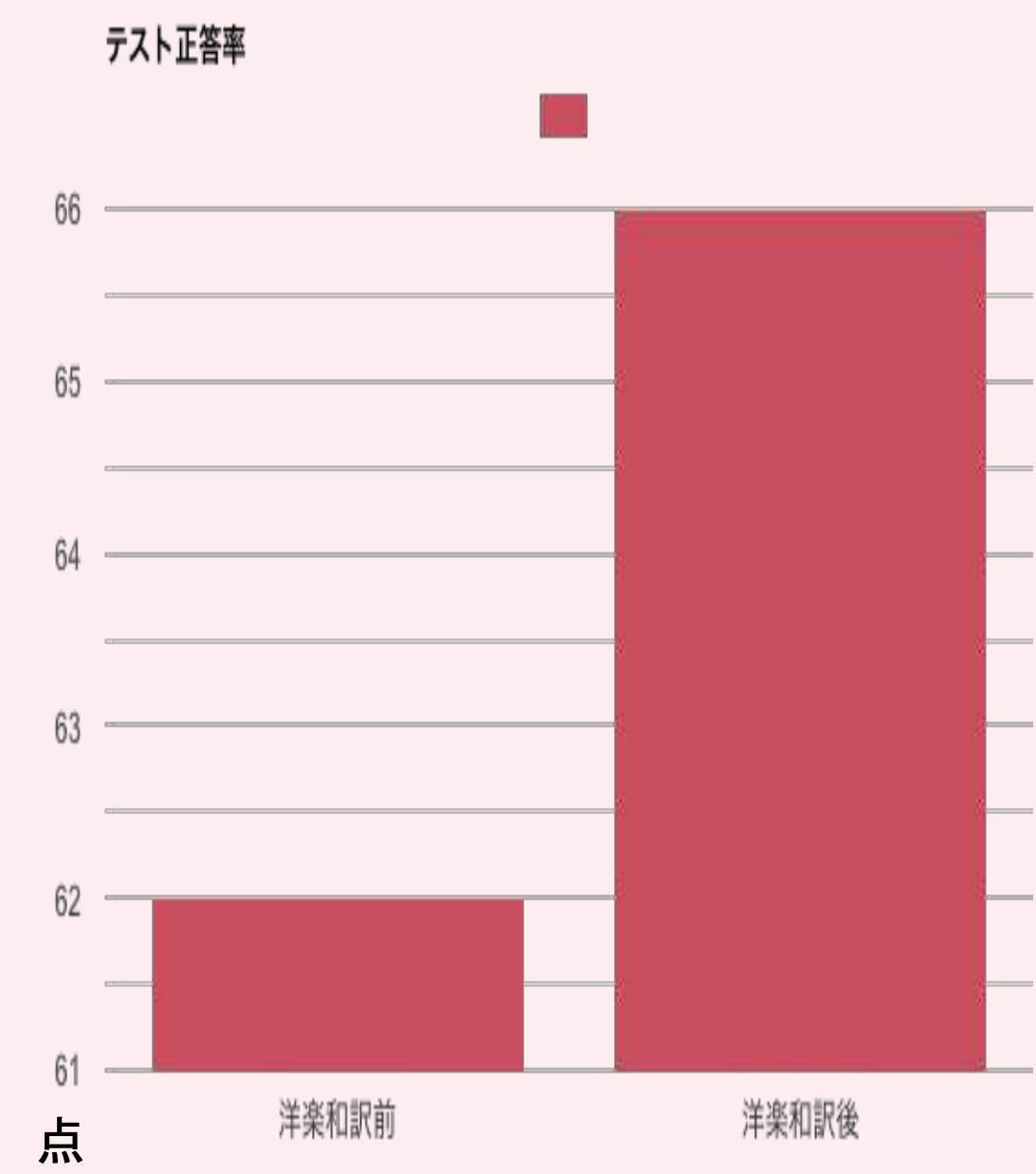
英語で会話する

→正答率が **3.7%** 上がった。



洋楽を和訳する

→正答率が **4.2%** 上がった。



考察

授業に加えて、**洋画を吹き替えなしで観る** ことで楽しくスピーキング力とリスニング力をあげることが出来て、授業では補えないコミュニケーション能力を得ることができる。洋画が効果的なのは、単語の意味を日本語に置き換えるのではなく、場面や動作と直接結びつけて記憶できるからだ と考える。

謝辞

私たちの研究に協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。